

中期取組目標実現に向けた「三つのプラン」

学校教育目標

- ・自ら学び粘り強く学習する態度を育て、基礎学力の定着をめざします。(知)
- ・誰もが安心して豊かに生活できる、挨拶と笑顔のあふれる学校をつくりまします。(徳・体・公)
- ・積極的に社会参加し、地域の人達との関わりを大切にすることを育てます。(公・開)

教育課程全体で育成を目指す資質・能力

〈主体的な取組で問題を解決する能力〉

具体化した資質・能力

- 協働的に解決策を見出し実行する能力
- 人々と協働・協調するコラボレーション能力
- 他者を理解する態度・自己を理解する姿勢

〈コミュニケーション能力〉

〈自分づくりに関する力〉

中期取組目標

1. 一人ひとりの生徒を大切にしたい分ける授業を推進し、学力の向上を図ります。
2. 人権尊重の精神を基盤とした教育を推進し、暴力や差別のない、挨拶と笑顔のあふれる学校づくりを進めます。
3. 生徒や保護者の思いを大切に受け止め、相互の信頼感と相手意識をもって柔軟な学校づくりを目指します。
4. 地域の温かさや大切さを語り継ぎ、「地域とともに歩む学校」の実現に向けて努力します。
5. 教職員が、社会的な視点・要請を自覚し、危機意識と当事者意識をもって学校運営に取り組みます。
6. 六中 6つの「あ」を実践します。(挨拶・当たり前・相手意識・安心・安全・新たな自分作り)

学力向上アクションプラン

重点取組分野	具体的取組
自尊感情を育てる授業づくり	①基礎基本の定着を図るために ・B規準明示、見直し振り返り・授業中の支援・AIドリルで個別最適化・生徒授業評価・校内授業研究・学習評価研修 ②学習を支える非認知能力を伸ばすために ・教科以外の学習の充実・協働的、体験的な学習を重視・YPアセスメントを活用した授業
担当	学習指導部長

学力向上に関わる本校の状況
<p>(1) 学力に関わる児童生徒の実態 国・社・数・外国語の学力は市の平均と同じ程度であり、理の学習意欲が市の平均を上回っている。学習意欲については、教科と学年ごとにばらつきが見られる。授業に取り組む姿勢はよいが、学習習慣が身につけていない生徒が多く、配慮を要する生徒が増えている。</p> <p>(2) これまでの学校の取組状況 人権センター校として、学校全体で人権の視点を大切に授業の改善に取り組み、生徒の自尊感情の育成に力を入れている。</p> <p>(国) 学習意欲がやや低い傾向にある。また、3学年共通して文章を要約することや情報を整理する力が市の平均よりも下回っている。文章や情報を読み、自分なりに解釈することで読解力を育成できるよう指導を行っている。 (社) 単元ごとの学習課題を解決していく授業を継続して実践している。 (数) 演習時間をしっかり確保することで基礎学力の定着に力を入れながらも、学習意欲が高まるような授業実践を行っている。 (理) 身近なものを題材にして意識を高め、観察・実験を行う上で楽しみながら、基礎を定着させていけるよう指導している。 (英) 基礎・基本の定着に力を入れつつ、英語での情報を読み取ったり、場面に合わせて表現したりするなどの英語を活用する力を高めていけるような授業を心がけている。</p>

今年度の目標
「思考・判断・表現」の力を育てる
目標を実現するための具体的行動プラン
<p>上半期</p> <p>(国)基礎・基本の内容を計画的に反復学習し、日常生活で活用できることを目指す。 (社)ICT機器の利用を推進し主体的に学ぶ体制作りと基礎・基本の学力の定着を図る。 (数)粘り強く取り組めるよう分かりやすい授業を心がけ、基礎・基本の定着を図る。 (理)身近なものと学習内容を結びつけて思考することで、意欲をさらに向上させる。 (音)様々な音楽に触れ、音楽活動を充実させる上で必要な技能の伸長を図る。 (美)ICT機器を活用したわかりやすい資料提示、実技見本、鑑賞活動を展開する。 (体)学習カードを活用し、具体的な記入方法を明示し、課題解決を促す。 (技)ICT機器を活用した活動を取り入れ、調べ活動や探究的な学びを実現する。 (英)実際のコミュニケーションにおいて活用できる、聞く、読む、話す、書く場面を設定し、思考・判断・表現を働かせる活動を充実させる。</p> <p>下半期</p> <p>(国)情報活用力を伸ばし目的や場面、相手の意図等を意識し考えを伝え合う力を培う。 (社)ICT機器を活用し、思考・判断・表現を的確に行うことができる授業をめざす。 (数)生徒の「わかった」瞬間を大切に。ICT機器を利用して興味・関心を高める。 (理)観察実験の技能が定着するような実験を行い、予想や考察の場を設ける。 (音)実技発表に向けて、お互いの音楽を聴き、様々な表現方法を学び、コミュニケーション能力を向上させる活動を多く取り入れる。 (美)生活の中に関わる物や事柄に、美術的な視点を結びつけた授業を行う。作品の鑑賞では、思考・判断・表現に活かすヒントを発見する場を設ける。 (体)グループ活動において、考えたことを伝え合う機会をつくる。 (技)生活の中から課題を見出し、実生活に役立つ製作を行い、持続可能な社会に向けて考察していく。 (英)実際のコミュニケーションにおいて活用できるように、様々な場面設定の中で適切な表現英語を使えるようにする。</p>

豊かな心の育成推進プラン

重点取組分野	具体的取組
人権教育	①生徒一人ひとりの人権意識と自尊感情を育てる ・挨拶運動・人権週間の取組・金沢ブロック人権研修・校内人権研修 ②生徒理解を深め、課題の予防・早期発見・早期解決に組織的に取り組む ・生活アンケート・YPアセスメント・学年間での情報交換・SC、SSWなど専門機関との連携 ③誰もが安心して豊かに生活できる環境を作る ・特別支援教育研修・個別の支援計画・指導計画の作成、実践、振り返り・特別支援教室の運営
担当	生徒指導部

豊かな心に関わる本校の状況																					
<p>○ 社会の変化に対応する自立心、規範意識や善悪の判断のさらなる定着が求められる。</p> <p>○ 相手意識を向上させ人権意識を高める必要がある。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>学年/質問項目</th> <th>「自分のことが好きですか」という質問に対する肯定的な意見の割合</th> <th>「自分には良い所があると思いますか」という質問に対する肯定的な意見の割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3年(現高1)</td> <td>64.7%</td> <td>78.2%</td> </tr> <tr> <td>横浜市平均</td> <td>67.7%</td> <td>76.3%</td> </tr> <tr> <td>2年(現中3)</td> <td>83.9%</td> <td>82.9%</td> </tr> <tr> <td>横浜市平均</td> <td>66.5%</td> <td>74.6%</td> </tr> <tr> <td>1年(現中2)</td> <td>77.2%</td> <td>82.1%</td> </tr> <tr> <td>横浜市平均</td> <td>71.7%</td> <td>77.8%</td> </tr> </tbody> </table>	学年/質問項目	「自分のことが好きですか」という質問に対する肯定的な意見の割合	「自分には良い所があると思いますか」という質問に対する肯定的な意見の割合	3年(現高1)	64.7%	78.2%	横浜市平均	67.7%	76.3%	2年(現中3)	83.9%	82.9%	横浜市平均	66.5%	74.6%	1年(現中2)	77.2%	82.1%	横浜市平均	71.7%	77.8%
学年/質問項目	「自分のことが好きですか」という質問に対する肯定的な意見の割合	「自分には良い所があると思いますか」という質問に対する肯定的な意見の割合																			
3年(現高1)	64.7%	78.2%																			
横浜市平均	67.7%	76.3%																			
2年(現中3)	83.9%	82.9%																			
横浜市平均	66.5%	74.6%																			
1年(現中2)	77.2%	82.1%																			
横浜市平均	71.7%	77.8%																			

今年度の目標
<p>○全教育活動を通して、道徳教育・人権教育の充実を図る。</p> <p>○他者との関わりや豊かな体験を通して、自尊感情・自己肯定感を高める。</p> <p>○家庭・地域との連携を図り、多くの人と関わることで、コミュニケーション能力を高める。</p>
目標を実現するための具体的行動プラン
<p>上半期</p> <p>指針1 「道徳の時間」の充実 ・道徳教育や人権教育について、家庭・地域に発信する。</p> <p>指針2 確かな人権感覚・意識の育成 ・人権教育全体計画に基づいて教育活動を行い、授業をはじめとした「学習活動づくり」において人権が尊重される「人間関係づくり」を推進する。 ・教員の人権感覚、人権意識を向上させ、人権が尊重される授業作りを行うために、校内研修やブロック内研修の充実を図る。</p> <p>下半期</p> <p>指針1 「道徳の時間」の充実 ・道徳の授業を充実させ、家庭・地域に公開する。 ・道徳教育や人権教育について、家庭・地域に発信する。</p> <p>指針2 確かな人権感覚・意識の育成 ・人権教育全体計画に基づいて教育活動を行い、授業をはじめとした「学習活動づくり」において人権が尊重される「人間関係づくり」を推進する。 ・教員の人権感覚、人権意識を向上させ、人権が尊重される授業作りを行うために、校内研修やブロック内研修の充実を図る。</p>

健やかな体の育成プラン

重点取組分野	具体的取組
健康教育	①自他の命を大切にできる健やかな心と体を育てるために ・地域の方も参加する避難訓練・津波訓練・保健体育科・保健室だより・保健安全委員会活動・体育推進委員会活動 ②食への関心を育て、食事の重要性を理解し、健康な食生活が実現するために ・家庭科・中学校給食・保健室だより・保健安全委員会活動
担当	指導部長 体育科 家庭科

健やかな体に関わる本校の状況
<p>○防災面(昨年度の実績) ・避難訓練に連合町内会長と区役所職員が参加 ・地域防災訓練に生徒が自主的に参加 ・はまっこ防災プロジェクトを1年生が活用</p> <p>○健康面 ・アレルギーをもつ生徒が多い ・学年が上がるにつれ視力矯正者数が増える</p> <p>○体育面 ・身体能力は平均化されてきている ・コロナ禍で落ちた持久力が戻っている傾向 ・昼休みに校庭で遊ぶ生徒が多い(25%前後)</p> <p>○食育面 ・中学校給食利用率は35~40%</p> <p>OR4 体力・運動能力のデータ</p>

今年度の目標
自他の命や健康、食について意識を高める
目標を実現するための具体的行動プラン
<p>上半期</p> <p>(視力) 保健環境委員会で課題について取り組む。例：学校保健委員会 (食) ブロック小学校の栄養教諭と連携 例：パクパクだよりを中学校でも配布 (視力・食) 毎月の保健室だよりで意識喚起 (体力) 4月に体力テストを実施し、7月に分析する。 (体力) 体育推進委員会で課題について取り組む。例：昼休みのボール貸出 (体力) 毎回の保健体育の授業でラジオ体操を3年間続け姿勢変換能力を向上させる。 (食) 1年次の保健体育の授業で「食事と健康」の単元で学習を深める。 (食) 1年次の家庭科の食に関する単元、5月~9月で学習を深める。 (食) 3年次の家庭科の「幼児の生活と家族」の単元、6月に学習を深める。 (防災) 4月の火災避難訓練に全町内会長と区役所職員が参加 (防災) 8月の地震避難訓練に全町内会長と区役所職員が参加</p> <p>下半期</p> <p>(視力) 保健環境委員会で課題について取り組む。例：学校保健委員会 (食) ブロック小学校の栄養教諭と連携 例：パクパクだよりを中学校でも配布 (視力・食) 毎月の保健室だよりで意識喚起 (体力) 体力テストで意識した課題解決に個人で取り組むことを支援する。 (体力) 体育推進委員会で課題について取り組む。例：昼休みのボール貸出 (体力) 毎回の保健体育の授業でラジオ体操を3年間続け姿勢変換能力を向上させる。 (食) 1年次の保健体育の授業で「食事と健康」の単元で学習を深める。 (食) 1年次の家庭科の食に関する単元、10月~1月で学習を深める。 (防災) 10月の津波避難訓練に地域住民が参加 (防災) 11月の地域防災訓練に生徒が自主的に参加</p>